

令和4年度 第10回タウンミーティング

能美市老人クラブ連合会とのタウンミーティング

日 時 令和4年11月10日(金) 10時～11時

会 場 根上総合文化会館 タント

参加人数 150人

1) 開会

2) 老人クラブ連合会会長 ご挨拶

・研修会に参加していただき、ありがとうございます。皆さんが楽しみに楽しみにまっていた。今日の研修会「インクルーシブのみ みんな一緒に」と題して、井出市長に講演をいただきます。この講演が、明日からの老人会活動の糧となることを願っております。皆さんよろしく申し上げます。

3) 市長 市政報告

○はじめに

・広報能美を10月号からリニューアルしました。文字を読みやすい字体にしたり、文字を横方向にしたり多くの皆さんがたに興味を持って読んでもらえるようにしました。新コーナーも始め、市内の保育園の様子を載せています。皆さんのお孫さんも載ってらっしゃる日が近々来るんじゃないかと思えます。

・松井秀喜さんが4年ぶりに能美市に帰ってこられました。インタビューをさせていただき、11月号に掲載しています。市内の施設紹介や、外国人の皆さんにも読んでいただけるような紙面も作りました。

・10月号には市内の施設を無料で体験できる券、11月号には能美応援特典券5000円分をいれさせてもらいました。今大変物価高で生活が厳しいことや、まだまだ市内の飲食店などは、お客さんの入りがコロナ前には戻ってきていないということで応援をしたいことから券を入れてございます。ぜひ奮ってご利用いただければと思います。

○8月4日の大雨について

・本当にすごい雨、過去に経験をしたことがない雨でした。今回最も被害がひどかった一つに、農地・農業施設があります。田んぼに雨や土砂が入り、頭首工という水をせき止め

て、取り入れ農地に流すという仕組みが15ヶ所流されて、水が取れなくなりました。今はポンプを使って水を入れている状況です。里山地区にイノシシが出てこないように設置している、電気の柵も壊れました。史跡名勝では、鍮水観音で土石流が起きました。七ツ滝の散策路や蟹淵への林道も被害を受けました。

- ・市内では、120件を超える住宅で床上床下浸水があり、冠水をした農地が20ヘクタール、土砂が入った農地が12ヘクタールありました。

- ・これまでは大雨警報が発表されて土砂災害警戒情報が発表されるまで約3時間から5時間あった。今回は50分で発表されました。8月20日は20分後に出ている。

- ・雨の量は8月4日の4時から5時の間に86ミリ、短時間で大量の雨が降っている。午前中で雨が小康状態になるという金沢気象台の予報でしたが実際にはその後も雨が降り続きました。

- ・8月4日は、6時半に部長以上を集めて対策本部を立ち上げ、40分に鍋谷町と寺畑町に避難指示を発令しました。夕方になると雨水が下水道にどんどん入っていったことから生活排水が下水道管に入っていくという状況になり、皆さんがたに排水を控えていただきたいとご協力をお願いさせていただきました。また、和気町で車が冠水し、ボートで救出したということもありました。

- ・8月5日以降は、床上床下浸水されたお宅からの排水用のポンプや、住宅の消毒用の器具の貸し出しの為に緊急窓口を設置しました。ワンストップで災害のことを相談できる窓口やボランティアセンターを設置したり、災害ごみの臨時集積場を設けました。二次被害が起きないようにしたり被害状況を調査をしたり、市としてやっていることをわかりやすくお伝えできるようなホームページも作りました。

- ・馳知事や岡田大臣にお越しをいただき、1日も早い復興復旧をお願いし、二度と同じような水害が起きないように対策をとってほしいと要望もいたしました。

- ・9月市議会で5億9300万円の予算を上程させていただき、通常議会というのは最終日にこういった予算をお認めいただくが、緊急に対策をとるために初日に議会の承認をいただきました。

- ・我々行政だけでは成し得ないこともたくさんありました。避難所を3ヶ所設けたが、避難所までなかなか行けない地域もあり、地域内の公民館を緊急で避難所にしていただいた。ご協力をいただいた皆様方には御礼を申し上げたい。災害にも強い能美市をさらに目指していきたい。

○新型コロナウイルス感染症について

- ・これまでは、高齢者が感染する比率が高かったが、ワクチン接種が進み若年層が感染する比率が高くなってきている。オミクロン株対応のワクチン接種の準備を進めている。対象となる市民に接種券が順次送付されているので、希望される方は予約をして接種いただければと思います。

・現在のところ、感染拡大を最小限に食い止めるのは、マスクの着用、手指消毒等の基本的な安全対策とワクチン接種ということになっておりますので、ぜひご協力をいただければと思います。

○施策について

・市の施策7本柱が全て移住定住の促進に繋がるように取り組んでいる。移住定住促進というのは、私は自治体の勢いを示す数値は人口だと思っている。人口が増えている街は、何か魅力や勢いがあることから、全ての施策が移住定住の促進に繋がるようにしている。

・人口が増えるには自然増と社会増の二つの要素がある。自然増社会増を目指して、移住定住の促進をやっていこうとしている。我々行政だけでやれるわけではなく、市民の皆様方の協力も必要ですし、もう一つ大事にしてるのはふるさと愛です。能美市に住んでらっしゃる人に能美市のことを好きになってもらいたい、誇りに思ってもらいたいということです。

○市の課題について

・日本の多くの自治体が同じような状況ですが、能美市も最近人口が減ってきている。世帯数は伸びているが、一人暮らし世帯が最近増えてきている。社会増のために子育てや住環境を充実させ、自然増のために健康寿命の延伸を進めていかなければならない。

・自然災害や事故事件を防ぐために防災や減災もしなければならぬ、また外国人比率が県内ナンバーワンですので多言語対応もしていかなければならない。一番多いのがベトナム人、次が中国人です。ベトナム語や中国語でも医療機関等が対応できるようにしていきたい。

・企業誘致が好調で2023年までに新たに1000人の雇用先が生まれる。他県や大都市圏からUターン、Iターンしてもらうことを強化をしている。

・感染症対策で非接触型のサービス展開。市役所に直接来ていただくなくてもインターネットや近くの施設でいろんな行政サービスが届けられるようにもしていけないといけない。

・公共施設やインフラや学舎の老朽化が激しい。市内には11の小中学校がありますが、築50年以上が約35%を占める。GIGAスクールを進めていくためにも教室が手狭、学校をどう建て直していくかが課題になっています。保育園、児童館やCC館等も、この市内の施設をどう保全補修、新しいものにしていくかも大変大きな課題です。

○インクルーシブシティ

・こういった課題を解決していくのにデジタルの力も借りて進めてやっています。能美市はデジタル田園都市国家構想推進交付金を内閣府からいただき、デジタル技術を使って色々なことをやっていこうとしています。

・能美市は地域共生社会を目指しています。地域共生社会というのは、健康な方も高齢者

もお子さんも障害をお持ちの方も、また外国人も能美市に住む全ての皆さんがたが健康で安心安全快適に暮らしていただこうというのが地域共生社会で、まさにインクルーシブというキーワードなんです。

・例えば子育て分野では、予防接種の時期や病気にかかった履歴をデジタルの技術で一気通貫で見れるようにする。日常生活では、ゴミ出しアプリで、ごみの日をスマートフォンでお知らせする。公共交通のみバスでは、乗りたいバスが何時何分に来るとか、混雑状況もわかるようになっていきます。

・サテライトオフィスの整備をしたり、能美根上駅に情報が取れるような看板やモニターを設置したりしています。GIGAスクール構想で子どもたちがパソコン持って勉強をしています。防災減災救急でも最新機器を導入して、いろんな装備を今充実させています。

・防災行政無線の多重化をしています。まずは、携帯やスマートフォンに文字で流すようにし、室内の受信機と屋外のスピーカーを最新鋭のものにしていきます。流れた情報を固定電話で確認できるようにしたり、ケーブルテレビやホームページでもお知らせします。件数も多くエリアも広いため来年度中までには完成をさせようと初めています。

○医療介護DX

・一人暮らしの方が具合が悪くなった時に、ご近所の方が救急車を呼んだとします。救急隊は患者さんの医療の情報、どんな病気に罹っていたか、どんな薬を飲んでいるか等々を病院に伝えないといけないんですけど、本人が具合が悪く伝えられない。ということで、こういった方々の情報をデータベースに登録をしておいて、必要なときに必要な情報を取り出せるようにして、生命を守っていきこうという取り組みを始めています。

・病院から退院をして介護を受ける場合に、ケアマネさんに必要な情報をデジタルを使って共有をしてもらうことや、自宅にいても医療を受けられるようにできないかということも今取り組みを始めています。

・子どもたちや子育てをするお父さんお母さんにも、デジタル使って色々な手続きがもっと簡単にできるようにしようと考えています。皆さんに安心安全快適に暮らしてもらいたいということを考えて、能美市はインクルーシブシティということでもいろんなことを今やっています。国全体がデジタルを使っていろんなことをやろうとしている中で、能美市も取り組んでいるという実例であります。

・ただデジタルばかりだとなんとなく不安だと思います。人にいろいろと教えてもらいたい、あるいは訪ねて会話したいというのはあると思います。いろんな悩みを持っていらっしゃる方が今だんだん増えてきている。1人でもいろんな悩みを抱えているし、ご家族の中でもいろんな悩みを持っている世帯が最近増えているんです。これまでは、相談される窓口がわかれていたんです。悩みを相談できるチームを作って、ワンストップで対応できるようにしましょうという取り組みも今始めています。我々も個別の対応ではなく世帯全体でどうしていけばいいかをお伝えもできますし、専門職が集うということで職員もいろんな

情報を共有できることから、相談体制の整備も進めています。

○施設整備について

・クアハウスN9の隣に、インクルーシブパークという障がいをお持ちの方でも遊べる遊具が設置してあったり、足に負担がかからない柔らかい素材を使っている遊歩道がある公園を作りました。

・合奏墓を建設いたしました。利用されるのは県外の人が多いだろうということから、空港、それから新幹線の駅、高速道路のインターチェンジに近い山口町に作りました。また、根上学習センターやふるさと歴史の広場、サンテ、九谷焼美術館|体験館|、白寿会館、パークゴルフ場のクラブハウス、亀齢荘、フラワーハウス跡地を今後回収していく予定です。

・寺井地区と根上地区は学校で給食を作っているんですけど、学校が古くなってきていて給食室も古くなっている。寺井地区と根上地区の小中学校へ給食を持っていくための給食センターを作ろうと今準備を始めています。

・健康ロード、北陸鉄道能美線の跡ですがリニューアルをしていきます。北陸鉄道能美線が走ってから100年目を迎え、廃線になって45年目、能美市制誕生20周年を迎える2025年にやろうと今準備を進めています。

・現在福島保育園が民営化されているが、緑ヶ丘保育園や湯野保育園も建て替えて民営化していくことを考えている。

・産業団地をさらに造成をしていこうと考えている。それに合わせ宅地の造成も今取り組んでいる。

・タウンミーティングを市長就任当時から始めたときに一番言われたのが能美バスです。バスが遅い、本数増やしてという声があって1年半前にリニューアルをしたが、今ひとつ利用度は上がってこない。もう1回リニューアルしますので、こんなルートでとかここに停留所を作ってほしいという需要があればおっしゃっていただければと思う。ただ、週に1回か2回は乗ってほしい。普段乗車されないと継続できなくなってしまう。

○今後の取り組みについて

・11月はアットホームタウンフェスティバルということでいろんなイベントをやります。能美市の観光大使の方が出演される能美市ゆかりのコンサートや有森裕子さんの講演会があります。また、能美市ファミリーコンサートもありますし、井上あずみさんというトトロの歌を歌ってる人がきます。全てこのタントで開催されますので、ぜひご来場ください。

・加賀立国1200年というこの能美ができて、来年1200年を迎えます。1200年の年にはいしかわ百万石文化祭ということで、石川県全体がいろんなイベントをやります。能美市でもやりますぜひ皆さんご参加、ご出席、よろしく願います。

○おわりに

・7月には根上七夕まつり、8月には辰口じょんから祭りを開催しました。本当に大勢の市民の皆様方に集っていただいています。これからもいろいろなイベントをしながら、いわゆるウィズコロナあるいはアフターコロナを見据え、いろいろな取り組みをしていきたいと思っています。今後も皆様方のご理解とご協力、それからご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

3) 質疑応答

質問1

【参加者】

・泉台町老人会のお知らせを防災行政無線で行なっている。アパートの入居者は無線を置いていない方が多い。市で条例を整備してアパートは大家が導入することを義務付けられないか。

【井出市長】

・市で条例を整備してというのはなかなか難しいと思う。無線放送の多重化を行なっているので、スマートフォンなどで確認できるように対応していきたい。

質問2

【参加者】

・物見山陸上競技場の入口の階段には手すりが設置されていない。高齢になると手すりがないとかなり苦勞する。手すりの設置をお願いできないか。

【井出市長】

・おっしゃる通り手すりがあったほうがよいと思う。現地を確認して対応を考えたい。

質問3

【参加者】

・8月4日の大雨災害後ボランティア活動に参加した。今後市は災害が起こった時の対応をどう考えているか。高齢者の方でもボランティアを行ないたい方はいるが、逆に迷惑かと思ひ遠慮する方もいると思う。今後のボランティア活動に対する市の方針、また高齢者でもできるボランティア情報の提供があるとよい。

【井出市長】

・今回の大雨はこれまで経験したことのない大雨で、課題が多く残った。今回の大雨を教訓に、今後に向けて一つ一つ積み上げていきたい。どんな情報が災害時に必要であるかは、今総括をしているところです。

質問4

【参加者】

・国民年金の納付率が4割となっている、また派遣法の改正で非正規労働者が増え、他の先進国と比べても、時給が低くなっている。段々と色々と社会の根っこがおかしくなっている。これらを正さない限り市長が今日説明された施策は効果がないと感じる。こういった問題について市長はどう考えておられるか。

【井出市長】

・高校生の皆さんとタウンミーティングを行なう機会もあり、そういった時には社会が抱える問題点についても若い世代に伝えていくのが私の責任だと思い伝えている。国の現状についても、一人一人の皆さんが自治体あるいは国を好きになってもらうことが重要だと思っているので、市民の皆さんに現状や今後について伝え、一緒に取り組んで行きたいと思っているし、国へもそういった取り組みを行なってもらえるよう訴えていきたい。

4) 第1部 終了